



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

コード番号 4957 URL <http://www.vschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 青山 勝則

TEL 0847-45-3530

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,115	8.0	670	124.5	820	105.5	554	108.0
26年3月期第3四半期	8,441	1.5	298	79.9	399	118.5	266	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	53.93	—
26年3月期第3四半期	25.93	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	21,315		17,339		81.3	
26年3月期	21,791		16,848		77.3	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 17,339百万円 26年3月期 16,848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,129	7.1	934	123.5	1,056	103.9	635	107.1	61.88

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	10,839,663 株	26年3月期	10,839,663 株
27年3月期3Q	564,309 株	26年3月期	564,197 株
27年3月期3Q	10,275,423 株	26年3月期3Q	10,275,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や、日銀による追加金融緩和を背景に、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移したものの、円安に伴う原材料価格の高騰、消費税増税や天候不順による個人消費の停滞など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましても、輸出企業を中心に持ち直しがみられるものの、国内需要の低迷や原材料高、企業間における価格競争の激化等、厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売の拡大に努力する一方、全社にわたり生産効率のアップ、業務の効率化をはかり、収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高9,115百万円（前年同四半期比108.0%）、経常利益は820百万円（前年同四半期比205.5%）、四半期純利益は554百万円（前年同四半期比208.0%）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、13,918百万円となり前事業年度末に比べ826百万円の減少となりました。これは主に有価証券の取得による増加及び前渡金の増加がありましたが、現金及び預金、原材料及び貯蔵品がそれぞれ減少したためであります。固定資産は、7,397百万円となり前事業年度末に比べ350百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産及び投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、総資産は、21,315百万円となり、前事業年度末に比べ475百万円減少いたしました。

#### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、2,471百万円となり前事業年度末に比べ843百万円の減少となりました。これは主に買掛金、短期借入金、未払金がそれぞれ減少したためであります。固定負債は、1,505百万円となり前事業年度末比123百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、3,976百万円となり、前事業年度末に比べ966百万円減少いたしました。

#### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、17,339百万円となり前事業年度末に比べ490百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益により利益剰余金が増加したことによるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年10月24日に公表いたしました平成27年3月期の通期の予想を変更いたしております。

詳細につきましては、本日（平成27年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、これによる損益及び財政状態に与える影響は軽微であります。

#### 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

#### 修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,552,268	1,781,289
売掛金	2,168,661	2,431,945
有価証券	—	500,199
製品	1,835,688	1,678,184
仕掛品	858,595	941,086
原材料及び貯蔵品	7,059,825	5,469,908
繰延税金資産	84,031	43,496
その他	188,047	1,074,829
貸倒引当金	△2,168	△2,231
流動資産合計	14,744,949	13,918,708
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,021,859	977,985
機械及び装置（純額）	593,742	438,356
土地	3,558,068	3,559,778
その他（純額）	736,150	1,111,349
有形固定資産合計	5,909,820	6,087,470
無形固定資産	159,043	115,089
投資その他の資産		
投資有価証券	700,416	834,189
繰延税金資産	139,878	128,648
その他	150,555	244,747
貸倒引当金	△12,857	△12,857
投資その他の資産合計	977,992	1,194,728
固定資産合計	7,046,857	7,397,289
資産合計	21,791,806	21,315,997
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	630,801	461,268
短期借入金	1,758,888	1,253,088
未払法人税等	190,230	155,088
賞与引当金	121,982	30,606
その他	612,676	571,525
流動負債合計	3,314,579	2,471,577
固定負債		
長期借入金	969,012	780,021
退職給付引当金	238,876	279,881
役員退職慰労引当金	420,759	432,423
その他	—	12,922
固定負債合計	1,628,647	1,505,248
負債合計	4,943,226	3,976,825

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	13,550,532	13,986,664
自己株式	△391,308	△391,393
株主資本合計	16,677,804	17,113,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170,775	225,320
評価・換算差額等合計	170,775	225,320
純資産合計	16,848,579	17,339,172
負債純資産合計	21,791,806	21,315,997

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
売上高	8,441,419	9,115,807
売上原価	6,945,573	7,191,865
売上総利益	1,495,846	1,923,942
販売費及び一般管理費	1,197,050	1,253,114
営業利益	298,796	670,828
営業外収益		
受取利息	1,168	6,647
受取配当金	12,606	13,677
為替差益	60,715	117,319
その他	41,383	26,106
営業外収益合計	115,873	163,751
営業外費用		
支払利息	11,281	9,351
手形売却損	3,727	4,007
その他	303	389
営業外費用合計	15,312	13,749
経常利益	399,357	820,830
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,519
特別利益合計	—	8,519
特別損失		
固定資産処分損	7,021	899
減損損失	11,105	—
特別損失合計	18,127	899
税引前四半期純利益	381,230	828,451
法人税、住民税及び事業税	146,930	255,244
法人税等調整額	△32,159	19,023
法人税等合計	114,771	274,268
四半期純利益	266,458	554,182

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。